令和6年度　江戸川区立春江中学校　学校関係者評価報告書（学校経営計画・学校関係者評価シート）

学校教育目標	○自ら進んでよく学び、協力して働く生徒 ○規律を守り、責任を重んずる生徒 ○心身ともに健康で、思いやりのある生徒		目指す学校像 目指す生徒像 目指す教師像	○未来を主体的に生き抜く力を育む学校 ○「なりたい自分」に向けて、目標を立て進むべき道を自らの力で切り拓く生徒 ○生徒の「今」を充実させ「幸せ」にすること、「未来を担う人づくり」に努める教師
前年度までの本校の現状	成果	・教職員が生徒の視点に立ち、寄り添う支援型指導を行い行事や授業など、何事にも一生懸命に取り組む生徒が多い。 ・研修や教員同士が互いに教えあう環境が整い、学校全体でのデジタル化が定着している。「オクリンク」「ミライシード」「ムーブノート」の活用率が江戸川区内中学校で１番高い。	課題	・基礎学力の定着と興味・関心・探求心をもって生徒が自ら学びに向かうこと。 ・生徒が自ら考え、その場の状況に臨機応変に対応し自らの行動に適切に律し、責任を果たせるように行動する力を身につけること。 ・やむを得ず登校できない生徒が多い現状の中で、エンカレッジルームを通して学びの場を確保して「誰一人取り残さない学校」とすること。不登校生徒の継続数の減少および新規数の抑制を図ること。

重点	取組項目	具体的な取組内容	数値目標	達成度		「中間」 自己（学校）評価(A～D)		「中間」 学校関係者評価(A～D)		「年度末」 自己（学校）評価（A～D）		「年度末」 学校関係者評価（A～D）		次年度に向けた改善案
				９月	２月	評価	コメント	評価	コメント	評価	コメント	評価	コメント	
学力の向上	○研究推進校の取組 ・単元テストの実施 ・手帳を活用した自己管理 ・ルーブリック評価の導入	・３つの分科会で仮説、検証の研修を行う。 ・各教科で単元が終わるごとに小テスト、単元テストを実施。 ・「ミライシード」の積極的な活用。 ・Foresight手帳の活用	・生徒向けアンケートで「わかりやすい授業」という項目で肯定的な意見を８０％以上にする。											
	○読書科の更なる充実	・調べる学習コンクールを活用して課題解決型学習、探求型学習の実践 ・読書科でPOPの他学年合同展示を実施	・図書室の入館率を前年度より１０％向上させる。 ・調べる学習コンクールの入賞を目指す。											
体力の向上	○生涯にわたる豊かなスポーツライフの実現	・体力・運動能力調査等の結果を検証して生かす。	・投力の数値を都平均まで向上させる。											
		・授業の補強運動（5分）を年間で実施。	・運動が好き、楽しいとなる生徒を70%以上にする。											
共生社会の実現に向けた教育の推進	○共生社会の実現を目指したユニバーサルデザインの推進	・教室前方へカーテンを配備する。 ・文書の文字のＵＤ化をする。	・学校からの文書をＵＤフォントで作成、配布をする。											
	○多様な学び場の確保	・校内別室指導支援員の見守りや校内教育支援委員会で情報を共有した支援の充実	・週１回の校内支援委員会の実施、ＳＳＷとの情報共有およびや学習サポートを含めた関係諸機関と連携を図る。											
不登校・いじめ対応の充実	○いじめ・不登校が生じない魅力ある学校づくりの推進	・いじめ防止基本法に基づいた対応と生徒の実態に応じた支援を行う。 ・hyper-QUを全学年で実施する。 ・生徒の心のSOSを見逃さない。	・年３回のアンケートを実施し、いじめを見逃さない体制を継続する。 ・hyper-QUの結果を共有して活用する。											
	○エンカレッジルームの充実	・エンカレッジルームを充実させ、個別ブースを確保する。 ・生徒の実態に応じた学校ルールの運用、デジタル機器で学習支援をする。	・毎日オンライン授業の実施 ・校内教育支援委員会を週に１回実施し情報を共有する。 ・不登校生徒、新規不登校発生率を昨年度より下げる。											
地域社会に開かれた学校の実現	○学校公開の実施およびホームページの充実	・学校公開を実施する。 ・学校ＨＰを更新する。 ・学校だより、学年だよりを配布する。	・年４回の学校公開（道徳公開を含む）を実施する。 ・１週間に７回はＨＰを更新して学校の様子を掲載する。											
	○教育活動の充実と発展	・学校評議員会での意見を集約し学校経営へ生かす。	・学校評議員会を年２回実施する。 ・年２回保護者アンケートを実施する。											
特色ある教育の展開	○デジタル機器を活用した学習の推進と家庭学習の定着	・家庭学習定着のために「ミライシード」「オクリンク」「ムーブノート」を授業で積極的に活用する。	・デジタル学習アプリの利用率を区内中学校の３位内にする。											
	○防災教育の充実と推進	・防災教室を実施する。 町会、関係諸機関も参加し防災への意識を啓発を促す。 ・事前指導でHUGを実施する。	・１１月に防災教室を実施する。 ・HUGを事前指導で実施して防災意識を高める。											
	○学校に関わる全ての人のウェルビーイングを目指す	・教職員の負担や業務の平準化を進める。 ・年休、育児関連休暇などの取得を推奨する。	・業務の精選をおこない、育児関連休暇の取得率を前年度より５％上昇させる。											